

◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
令和2年6月末現在
男 16,220人
女 16,029人
総人口 32,249人
世帯数 13,361世帯

◆茨城町民憲章

- ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

- ◆町の花 桜
- ◆町の木 梅
- ◆町の鳥 うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合
防災行政無線テレホンサービス
☎0800-800-8848
(通話料無料)

◆町の情報発信中!!

- 町公式ホームページ
<http://www.town.ibaraki.lg.jp/>
- 町公式ツイッター
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>
- 町公式インスタグラム
https://www.instagram.com/townibaraki_official/



里山に育む生きものたち

No.96 アゲハモドキ

(アゲハモドキガ科)

学名 *Epicopeia hainesii hainesii* Holland

写真・文 小菅 次男

湖沼自然公園での夜間観察会するとき、アゲハチョウに似た蛾の一種アゲハモドキが飛来し、参加者を驚かせました。

▼アゲハモドキとは

翅を開くと62mmほどで、和名は体に毒を持ち捕食者に襲われにくいジャコウアゲハに擬態しているのので付けられました。

翅の模様の配置などがそっくりですが、本種はそれより大分小さいです。

▼ジャコウアゲハに擬態

本種が擬態しているジャコウアゲハは、幼虫のとき毒草のウマノスズクサを食べ、毒を体に蓄積します。成虫もこの毒を持つことから鳥から嫌われるのです。

しかも、本種はアゲハと同じように昼間も飛び、ジャコウアゲハと間違えられやすいのです。違う点は、ジャコウアゲハが比較的明るい河原や道路沿いを飛びますが、本種は山道や薄暗い樹林内を飛び、灯火にもよく集まることです。

▼東アジア特有の種

アゲハモドキガ科の蛾は世界に6種しか生息していません。その内日本に分布しているのは本種1種のみで、国外では中国とチベットにだけに見られる、分布上東アジアに特有な種類なのです。

▼口をまとつた幼虫

幼虫はミズキ科のミズキやヤマボウシなどの葉を食べ、成虫は5〜6月と8月に年2回発生し、

越冬は蛹でします。幼虫は体長30mmほどで、口から吐いた白い口状のふわふわとした物質で覆われています。白い物質を指でこするとツルツルしていて口吻物質であることが分かります。

▼似て非なるもの呼称

昆虫は動植物の中でも特に多様性に富んでいるので、姿や形が似かよっている種類が多く見られます。この「似て非なるもの」の和名には、接尾語にはモドキとダマシ、接頭語にはニセがあります。

この例を日本産科名の数で示すと、モドキは25、ダマシは14、ニセは9となります。その呼称の発案者は初期の昆虫学者の松村松年とされています。

ちびっ子アート いばらき幼稚園



「ママとイオンにいったよ♡」
ふじい いと (5歳)



「だいすきなママとわたし」
ひやま せいな (5歳)